

# 灯



7月3日朝、雨脚が強くなり学園の地下駐車場は危険かと考え地上に駐車した。午前8時半ごろ、地下が浸水し始めたので生徒に地下から靴などを上げるように指示。生徒出入り口が足首の高さまで浸

冠水し始めた。結果、教員の車多数が全損壊。地上の浸水は1・3層を超えていた。ピークの10時すぎに2階から正門前の道路や真向かいのドラッグストアを見ると、10台以上の車が完全に水没。警察は救命ボートを出して警戒に当たっていた。

水していた。8ト波

時30分、地下に1

行くのを制限。メ

水位はまだ膝下キ害

だったが、10分ド水

後には天井まで

冠水状態。1分の違いが命を左

右することを実感した。9時10

分、校庭東側を守るブロック塀

が大きな音と共に破壊。一気に

濁流とがれきが敷地内に流入し

た。事後確認だが直径30センチの丸

太が何本も流入していた。

塀の破壊後、さらに水かさが増し地上に止めていた乗用車が



草野 義輔

道路が通れるようになったので生徒の帰宅を促し、遠隔地は4台のスクールバスで対応した。日田で花月川の氾濫は聞いたことがない。山口大学の防災研究の先生が立ち寄り、調査ではこの川の氾濫は260年ぶりとのことだった。

懸命に対応し2日間の休校で学園は復活した。大災害だったが本校に限っては、人的被害が無かったことが不幸中の幸いであった。(昭和学園高校理事長

・日田市)